

テンメイニュース

第42号 2019年9月9日発行

発行:NGO仙台テンメイ事務局 仙台市青葉区中山6-6-45

TEL&FAX:022-279-1024 E-mail: atowa999@gmail.com

HP:http://genkiup.net/



第十三回通常総会

平成31年4月13日に第13回通常総会が開催され、全ての議案が可決承認されました。総会時会員数は112名。総会出席者18名。委任状提出者68名にて総会成立致しました。また、総会後の研修会も好評で、終了後の懇親交流会では、新たな仲間も増え、大いに親睦を深めることができ盛況でした。

本年度の主な事業計画

- 1 組織の充実、会議の開催
- ① 通常総会を年1回、理事会、メンバーミーティングを毎月1回開催する。
- ② テンメイニュースを年2回発行。ホームページの充実を図る。
- 2 安全で生命力の高い農産物の生産、食品加工等の事業
- ① 農業メンバ（農業研修生、ボランティアスタッフ）の増員、育成、拡充を図る。
- ② 農産加工品の製造を研究し、それに伴う施設、設備の整備を推進する。
- ③ 名取農場と大和農場のそれぞれの特徴を生かした農法で野菜を栽培する。
- ア、生体エネルギー理論に基いた生態系生体システムプログラム農法の勉強会を開催し、安心安全でエネルギーレベルの高い農産物を提供する。
- イ、ビニールハウスを有効利用し、収量増と定期的及び安定出荷を目指す。さらに栽培技術を整理し纏める。
- ウ、自然の恵みのみで栽培した農産物を提供する。
- エ、亜麻、綿、藍の栽培を実験する。



総会終了後の懇親交流会の様子

- ④ 株式会社田伝むし農園と連携して生体システムプログラム農法の米作りに取り組み、会員にエネルギーレベルの高い米を提供する。
- ⑤ グリーンガイヤと連携し、水耕栽培の実証実験を継続する。

3 高柳亭及び大和亭の庭等環境の維持管理

庭木及び生垣の剪定並びに庭の草刈り等を行い環境を整える。
② 中山歯科と共催で座禅断食会、健康教室、生体エネルギー勉強会などを開催する。

4 会員相互、地域住民及び志を共有できる仲間との交流活動の開催

都市型交流拠点として、あわの里天命舎、里型交流拠点として高柳亭及び大和亭の活動を充実させる。

5 理念を共有するグリーンガイヤ等の組織と連携を図り活動する

ハウス栽培の研究や大和農場の拡大村づくり構想を検討していく。

研修会参加レポート

今必要なこと

講師代表 大久保 直政

毎年いろいろなことがあるが、良い流れになってきたなあと感じている。職業柄もあり『いのち』について考えるところが多く、結果的に社会のあり方について考えている。明治維新以降150年。今、縄文の生き方が見直されてきている。自然と共生し健全なる命が継続できる生き方が大切である。自然を壊すような生き方は自然が認めてくれないし、長くは続かない。仙台テンメイは人との縁に恵まれここまで来ることができた。生きがいとは物の中にはなく、生き方の中に生きがいがある。同じところに向かっていける仲間と、座学だけではなく、行動でも一緒にトライしていきたい。

仙台テンメイ農場の展望

講師：副代表 大平 仁

天命ニュース創刊号に、『共生という理念のもとに支え合っていく地域コミュニティを創りイキイクワクワ生活していくと同時に、お金のいらぬ社会が可能だということを実証していく役割を持つ』という設立の目的がある。今まで13年間自由にやらせてもらいとても恵まれていると感じる。後の人のためにも畑の整備・作業小屋・物置小屋など少しづつ整えることができた。育った環境が、豊かな自然・温もりのある人との関わりがあり、お金は多くはなかったが、とても豊かな生活を経験しており、自身のお金のいらぬ村づくり構想のベースとなつていく。これから夢を少しづつ形にしていきたい。



私の生きがい創造

講師：理事 榎 梅子

68年間、ぼーっと生きてきた私。2年前の66歳までは、『なんかパーチャルな世界にいるなあ』と思いつつもサラリーマン生活をさせてもらった。苦手なこともしなければならなかったが、良い体験をさせてもらったと感謝している。私の生きがい創造は苦手克服である。仙台テンメイに入会して間もなくの頃、イシスさんにリーディングしてもらったこと、3つがテンメイの理念に近かったこと、退職後はそれを柱としてできることを学びと実践を深め健康で活躍することが苦手克服と共に私の生きがい創造となっている。



飛躍しました！

講師：理事 西野 拓

新規就農3年目を迎え、今年が今後の方向性を決める要の年になると実感している。2年目までは、実験段階で60品目程作付けしていたが、今季は30品目まで絞込み栽培をする。これまでの経験で、それぞれの圃場に適している品目の選定・栽培時期・収益性が確認できた。農業セミナーのおかげで、土壌分析に基づいた肥料配合の適切な割合、経済性、美味しさを研究した。今年度は、これまでの経験を踏まえ、適正価格で購入いただける顧客の獲得、安定した栽培管理するためのパート社員の雇用を実施し、継続可能な経営を意図して取り組んでいく。自身が健康で楽しんで野菜作りをすることで、結果的に地域の発展に貢献していきたい。



『田植え』体験会に行ってきました

会員：小関利之さん

6月2日(日)に石巻市の木村農園さんで行われた「田植え」体験会に行ってきました。

木村農園さんの田んぼには今まで2回「稲刈り」でおじやまさせてもらっておりませんが、「田植え」は今回が初めての参加です。

名取農場と同じく生態系生体システム「ブララン農法」ですので、来るたびに田んぼが良くなっていることに驚かされます。

今回は、おたまじゃくしが沢山泳いでおりまして一緒に参加した子供さん達も大喜びでした。

わたしも素足で田んぼに入りましたが、指の間に入り込んだ泥の感触も相まって得も言われぬ心地良さを感じました。

体験会は10数名で行われましたが、あつという間に終わりました。それというのも、食事会を含めて皆さんでにぎやかな時間を過ごすことが出来たからかと思えます。

昔は、地域の老若男女がわいわいがやがやと手植の田植えをすることがコミュニティの原点だったのかなあ…と感慨深いものもありました。

秋に行われる「稲刈り」体験会も今から楽しみです。皆さまも一緒に参加してみませんか？



はせくらみゆきさんセミナーに参加して

理事：行場 麻衣子さん

はせくらみゆきさんの講演会「宇宙のリズムにそった生き方 2019」と、翌日の「スペシャルセミナー 宇宙の法則セミナー 2019」に参加しました。

いつも以上のイテンション、ハイスピードで話が進んでいきます。令和になって、勢いがついている感じがします。自分自身に疑いを持たないこと。「自分もまわりもうれしいという波動を出すことが宇宙への奉仕」など、力強いメッセージが続きます。

みゆきさん曰く「今はうっかり成功する時代」だそうです。パラレルジャンプをするためには

- ① たくさんの現実があることを認める。
- ② 自分を愛すること。
- ③ より高次の自分と同調する。
- ④ 高次の自分がいると思えば、望みの自分を想像する。
- ⑤ 既にそうなったように振舞いながら、今できることをする。そしてパラレルジャンプを加速させるには、

① 心身の健康

② 新3K(共感 共時 共有)が大切とのこと。毎朝 今日もサイコー!と思うと目覚めるといいそうです。

令和の時代は、みゆきさん流にいうと「やりたいことは何でもできる。自分を通してこの人生を思いっきり楽しみたい!」ってこととみたいです。つまり大久保先生のブログにある「自分で自分を自分することと同じ?」これがそれぞれの今世の天命なのかなーと思います。

講演会後、個人的にパラレルジャンプしたなと感じた出来事がありました。みゆきさんの話を意識しながら生活していたところ、仕事で交換した名刺を翌日取り出したてみたら、全く身に覚えがないのに既に半年も前の日付が書かれていたという体験。辻褃の合わない出来事、これがパラレルジャンプだ!?



事務局より

・NGO仙台テンメイに入会を希望される方へ

入会申込書にご記入頂きFAX送信のうえ、お振込をお願いします。

・いのち野菜定期購入をご希望の方へ

申込用紙にご記入頂きFAX送信をお願いします。

・入会金 5000円(初年度のみ)

・年会費 3000円

・寄付金 1口:1000円

(いつでも何口でも歓迎です)

【申込書FAX送信先】

022-279-1024

【郵便振替口座】

名義人 仙台テンメイ
記号番号

02210・0・69799

いのち野菜

編集後記

まだまだ残暑が続いておりますが、暑い夏が過ぎて体力的に少し余裕ができてホッとしております。農業は毎年一年生と言われますが、特に露地栽培では、毎年気候が異なることと、品目ごとに時期に適した種まきのタイミングや定植のタイミングは一瞬しかなく失敗したら再トライできるのは翌年になってしまうため、本当に毎年一年生だな!と実感しております。もちろん収益を上げることは大切ですが、万が一失敗しても後悔しないようにできることを精一杯やっております。少しずつ無農薬栽培をご理解いただけるお客様も増えており、初心を忘れずやり続けることが大事だと気づかされております。遅くなりましたがテンメイニュース2019年上期号を発行できたことに感謝いたします。 西野